

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

### 租税滞納状況・消費税滞納残高が初めて減少

**Q** : 平成12年度の租税滞納状況が発表されたようですが、どのような状況でしょうか。

**A** : 制度導入以来年々増加していた消費税の滞納残高が、今回初めて減少に転じました。

#### 【解説】

国税庁は、平成12年度租税滞納状況の速報値を発表しました。確定したものは後日公表される予定ですが、数値等にはほとんど変化はなく、速報値では全税目と消費税という分類で発表されているのが、確定したものでは税目別などの細かい分類で発表されます。

今回発表された速報値によると、新規発生滞納額は全税目で13,415億円（前年比93.7%）、そのうち消費税は5,979億円（同95%）となっています。全税目・消費税とも昨年度に引き続き減少しています。

次に、整理済額は全税目で14,408億円（同97.3%）、そのうち消費税が6,003億円（同98.2%）となっており、こちらは前年を下回ったものの昨年並の水準を維持しています。

また、滞納整理中のものの額は全税目で26,668億円（同96.4%）、そのうち消費税が6,299億円（同99.6%）となっています。減少額は全税目で993億円にのぼり、そのうち消費税は24億円です。全税目では昨年度に引き続き2年連続で前年度を下回り、消費税については平成元年の制度導入以来初めて前年度を下回ることになりました。ここ数年国税庁が推進している消費税の滞納未然防止策が、功を奏した形となったようです。

